



墨

国の登録有形文化財「藤岡家住宅」7~9月の展示 ご案内

平成30年7月1日(日)~9月22日(土)

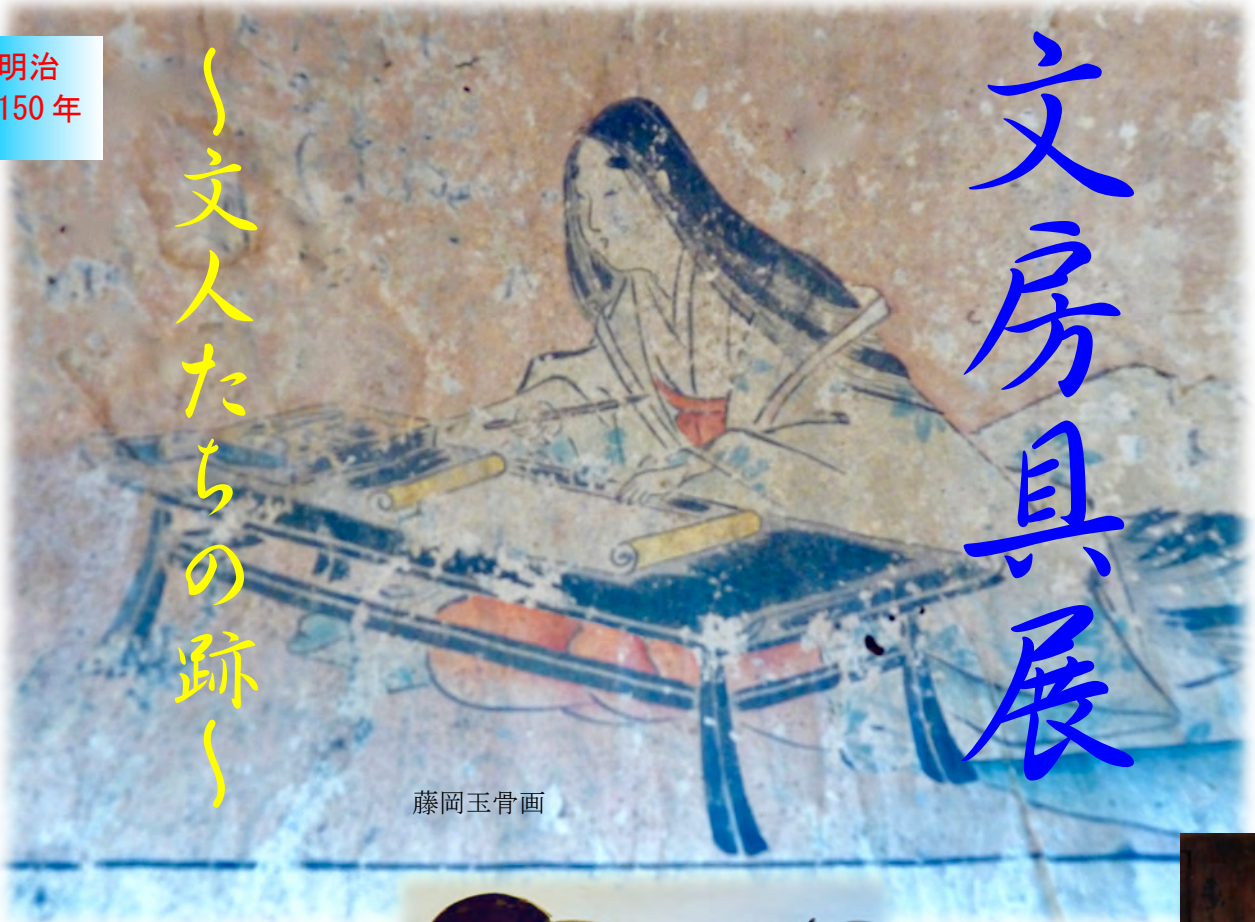


水滴

明治
150年

文人たちの跡

文房具展



藤岡玉骨画



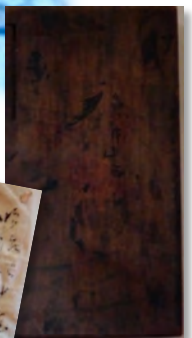
筆筒



矢立



水滴



文箱



扇型墨



藤岡用箋版木



ロータリークラブ
ペン立



硯

登録有形文化財「藤岡家住宅」管理法人

NPO 法人うちのの館 (やかた)

〒637-0016 奈良県五條市近内町 526

TEL&FAX 0747 (22) 4013

info@uchinono-yakata.com

月曜休館・月曜祝日の際は開館して翌日休館

9時~16時・高校生以上 300円 小中学生 200円



硯



文房具展 ～文人たちの跡～

登録有形文化財「藤岡家住宅」展示室にて
平成30年7月1日（日）～9月22日（日）



文房とは、元来、中国の文人の書齋、読書や執筆のための部屋のことです。文房具は、文房にある用具の意味で、文房四宝（ぶんぼうしほう）として筆・墨・硯・紙が特に尊重されました。日本の文人たちも、文房という空間で読書をし、書画を楽しみ、高雅な文房具を愛蔵しました。文房四宝のほかにも、印材（いんざい）、水滴（すいてき）＝筆に水を注ぐ道具、筆筒（ひつとう）＝筆立て、腕枕（わんちん）＝文字を書くときに腕をのせる枕、怪石（かいせき）＝奇怪な形をした卓上の置物用の石、手文庫＝手元に置いて手紙や書類を入れる箱・・・など、文房具は、書齋の住人の趣味を反映したものが集められました。狩野探幽の下絵による蒔絵がほどこされた「花兎蒔絵料紙文庫」には、江戸時代初期に製作された文庫を明治35年に購入したと記されています。

文房具はまた、商家にとっての必然の道具でもありました。墨壺と筆がセットされた矢立（やたて）は5点あり、どれも使い込まれて汚れたり傷付いたりしていますが、磨くと、それぞれの意匠の工夫がおしやれです。専用の便箋を刷るための版木もあります。『庭訓往来』など手紙の文例集、商家にとって、手紙は必需品であったかと思えます。

同じ文房具でも、子どもたちの勉強道具には、名前を書こうとした筆の跡や墨の汚れが付いています。

小さい筆と一本の筆が入る木の箱は、専用の木綿の袋に入っていて、袋には「明治四十年 ふばこの袋」と書かれていました。卓上に置いて置くタイプの文箱にも、墨でいたずら書きをした跡が残っていて、同じく、墨の書き込みがある明治時代の小学校と並べると、一生懸命勉強する子どものような生き生きと伝わります。

藤岡家の明治～昭和の投手藤岡玉骨（ふじおかぎょっこつ）は、戦前の官選知事（佐賀県・和歌山県・熊本県知事を歴任）でしたが、京都三高時代には、学内誌「嶽水会雑誌（がくすいかいざっし）」の編集をしました。嶽水会雑誌用の原稿用紙がありますが、その内の一枚には、厨川白村（くりやがわはくそん）の直筆で、イギリスの詩人 イェイツの詩「夢」が翻訳され、朱で玉骨の校正が書き込まれていました。

白村は、関東大震災で亡くなりましたが、夏目漱石の『虞美人草』に出てくる小野のモデルで、当時は三高の教授でした。（後に京都帝国大学教授）イェイツを日本に最初に紹介した人としても有名です。

玉骨が、竹の籠に和紙を貼り、そこに書き物をする女性の絵を描いていました。無造作に残されていたものですが、学ぶ人の清々しい美しさを巧みに描き出しています。藤岡家所蔵の文房具を通して、文人たちの愛した文房の文化の変遷を見ていただければと思います。

森鷗外、犬養毅らの墨跡と共に展示します。

THE MEIJI 150 FES.

うちの館・明治150年フェスティバルのご案内

明治150年を記念して、講演と音楽と展示のコラボレーションでお届けします。

8月16日（木）ゆかた・デ・ナイト2018 午後5時～8時（ライトアップライブ）
入館料のみ。ゆかたの方は無料。夜店も開店。

9月22日（土）松岡徳郎フルート&オカリナコンサート 午後1時～2時30分
1000円（入館料を含む） 要予約（できれば事前にご予約ください）

出演 松岡徳郎 朗読 宮内厚子 オカリナ 田中悦子 村井晴美
近くにお食事場所がないので、お食事ご希望の方は1000円（お茶付き）でご利用

11月11日（日）開館10周年記念 琴と尺八の宴（うたげ） 午後1時～2時30分
入館料のみ 要予約（できれば事前にご予約ください）

琴和会（島田響湖代表） 尺八 山原啓山
近くにお食事場所がないので、お食事ご希望の方は1000円（お茶付き）でご利用

登録有形文化財「藤岡家住宅」管理法人・NPO法人うちの館（やかた）
〒637-0016 奈良県五條市近内町526 TEL&FAX 0747(22)4013
ホームページは「うちの館」で検索して下さい。